

PCR法によるムコール(Mucor)症の血清診断に関する研究について

血液腫瘍内科 今井陽一

ムコール症(Mucor)症は、接合菌による日和見感染症の一つであり、血液内科分野においては、多くは造血器腫瘍患者の化学療法施行後や、同種造血幹細胞移植後などで、骨髄抑制期を始めとした免疫不全状態にて発症します。しかし、ムコール症は特徴的な臨床症状などに乏しく、一般的には β -Dグルカンなどの、いわゆる真菌マーカーも陰性であり、また特異的な抗原検査もなく、確定診断を行うことが難しい感染症です。確定診断のためには病理組織学的検査・真菌学的検査が必要で、そのためには、痰や気管支鏡で直接病原体を採取するか、死後の病理解剖などで発症が明らかになることも、しばしば認められるのが現状です。今回、我々はPCR法という手技を用いることの、ムコール症の診断における役割をより深く理解し、患者さんの負担が少なくまた早期から診断ができるなど、将来の診療にさらに役立てるために、過去の診療録の調査検討を行うことを考えております。今回、ムコール症と確定診断した患者さん2名の過去の診療情報・検査データ等を解析することで、PCR法によるムコール症の血清診断に関する検討を実施することにしました。なお、この研究は東京大学医科学研究所倫理委員会の承認を得て研究機関の長の許可を受けて実施されます。

1. 研究の対象となる方

本研究では、当院に入院していた患者で、死後の病理解剖でMucor症と診断された2名の患者様を対象としています。

2. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、当院で保管している、対象患者様の診療情報、検査データ等を使用いたします。対象患者様の個人情報につきましては、当研究室の個人情報保護管理者が厳重に保管・管理します。

3. 研究期間

2017年7月28日～2020年3月31日まで

4. 研究協力の辞退について

情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

5. 研究組織

研究責任者:

氏名 今井陽一 所属 血液腫瘍内科 職名 准教授

所内研究者:

氏名 東條有伸	所属 血液腫瘍内科・分子療法分野	職名 教授
大田泰徳	所属 附属病院病理診断科	職名 特任准教授
横山和明	所属 遺伝子・細胞治療センター	職名 助教
武井智美	所属 分子療法分野	職名 大学院生(大学院医学系研究科)
平野光人	所属 分子療法分野	職名 大学院生(大学院医学系研究科)

所外共同研究者:

内丸薫 所属 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 病態医療科学分野 職名 教授

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

<お問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究機関名	研究責任者	職名	電話番号
東京大学医科学研究所 附属病院血液腫瘍内科	今井陽一	准教授	03-3443-8111 (内線 75049)